



- 一般社団法人溶接学会年会費改定について
- Best Author 賞（JWS Best Author Award）の推薦について
- WEB 掲載の溶接学会論文集 32 巻（平成 26 年度）の印刷物の購入について
- 溶接学会全国大会講演概要のデジタル化のお知らせ
- Mate2015 第 21 回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム
ーエレクトロニクス製造業における生産技術の課題と次への挑戦ー参加者募集

● 一般社団法人溶接学会 年会費改定について

一般社団法人溶接学会会員種別及び入退会等規程第 9 条別表
年会費を下表のとおり改定することになりました。
（平成 26 年 4 月 23 日通常総会にて議決）

会員種別	現 行		改 定	
	年会費	入会金	年会費	入会金
正 員	12,000 円 (終身会員は免除)	1,000 円	13,000 円 (終身会員は免除)	1,000 円
賛助員	1 口 40,000 円 (口数制限なし)	なし	1 口 42,000 円 (口数制限なし)	なし
学生員	6,000 円	1,000 円	6,000 円	1,000 円

※年会費改定の実施は、平成 27 年度年会費納付分からとします。

【改定理由】

消費税の課税率が、平成 26 年 4 月から 5%→8%に引き上げられ、平成 27 年 10 月からは 8%→10%に引き上げられる見通しです。それに伴う経常費用の増加ならびに収支の悪化に対応するため、正員および賛助員の年会費を改定致したいと思えます。今後とも学会活動の活性化、若手研究者・技術者の育成強化、会員サービスの向上に努めて参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

● Best Author 賞（JWS Best Author Award）の推薦について

下記により Best Author 賞の推薦を募集いたします。

本年第 1 号（1 月号）から第 8 号（12 月号）までに会誌に掲載された記事の中から優秀と認められるものを、巻号、題名、著者、推薦理由を記して、1 編、編集委員会宛ご推薦下さい。

【賞の概要】

会誌「溶接学会誌」に発表された記事のうち、特に多数の会員の研鑽、及び、学術、技術の向上、普及に貢献した記事の著者に授与される。

【選考委員】

同賞選定委員会

委員長：会誌編集委員長

委員：編集委員より数名（各分野代表＋総合企画＋副委員長）

【選考方法】

会誌編集委員および会員モニタの推薦による記事の中から選定委員会で選定する。

【選考基準】

溶接学会誌の本年第 1 号（1 月号）から第 8 号（12 月号）までに掲載された記事の中から、優秀と認められるものを、原則として毎年数編以内選定する。

【表彰等】

4 月通常総会席上で表彰、賞状の贈呈。

【推薦書送付先】

（一社）溶接学会 編集委員会宛

● WEB 掲載の溶接学会論文集 32 巻（平成 26 年度）の印刷物の購入について

溶接学会論文集は、平成 19 年 1 月より印刷物での発刊に代わってホームページ上にて WEB 版として発刊されております。

印刷物にて一年分を纏めたものを購入される方は、下記により、平成 27 年 3 月 31 日までにお申込み下さいますようお願いいたします。

溶接学会論文集 32 巻（平成 26 年度）

【価 格】 15,500 円／冊（税込・送料別）

【申込先】 「お名前（会社名）」「送付先住所」「冊数」
をご明記の上、FAX にてお申込み下さい。

日本印刷出版株式会社 TEL：06-6441-0075
FAX：06-6443-5815

溶接学会全国大会講演概要のデジタル化のお知らせ

1. 全国大会講演概要はデジタル化されます

平成 27 年度春季全国大会より全国大会講演概要がデジタル化されます。全国大会運営委員会では、学会員の皆さんにとって魅力のある全国大会を目指し、議論を重ねて参りました。その第一弾は、平成 25 年度秋季大会より開始しました「ポスターセッション」です。また、続く第二弾は、平成 26 年度春季大会より開始しました「優秀な口頭発表に対するエクスプレス投稿の特典贈呈」です。そして、今回、第三弾として、講演概要のデジタル化を実施いたします。

タブレット端末やスマホなどモバイルツールが普及する今日、何時でも何処でも気軽に講演概要の内容をチェックしていただけるとともに、図表がカラーとなりますので、より一層、内容の理解も容易に深まるものと思います。加えて、印刷・製本する時間を節約できますので、講概概要の原稿提出の締切日を従来よりも遅く設定できる予定です。これは、最新で速報性の高いステート・オブ・ジ・アートな内容を盛り込む上で、講演者にとって朗報です。

全国大会運営委員会では、「いいね！全国大会」をスローガンに、新たに第四弾、第五弾の魅力あるサービスを考えて参りたいと思います。デジタル化に伴い講演概要の取り扱い、講演概要の配布方法、全国大会参加登録方法が変わりますので、以下にご案内申し上げます。

2. デジタル講演概要

全ての一般講演概要は、大会終了の 2 ヶ月後に J-Stage*で公開されます。講演概要への非掲載や J-Stage での非公開を希望する講演はいっさい受付いたしません。

3. デジタル講演概要の配布方法

配布方法はホームページからのダウンロードのみとなります。従前の冊子など印刷物としての配布は廃止いたします。ダウンロードができる期間は、全国大会開催の 1 ヶ月前から J-Stage 公開日迄です。

●**会員、賛助会員** 後述の全国大会参加登録を完了いただいた際に、デジタル講演概要のダウンロードサイトのホームページアドレスとパスワードを E-mail でお知らせします。

●**非会員** 後述の全国大会参加登録を完了いただいた際に、抄録集のダウンロードサイトのホームページアドレスとパスワードを E-mail で送付します。講演概要のダウンロードサイトのホームページアドレスとパスワードは、全国大会会場での受付の際にお知らせします。

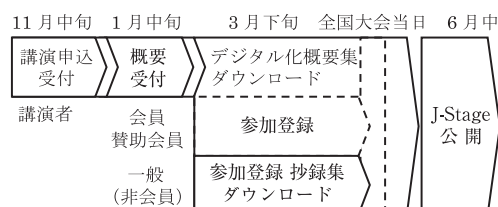
4. 参加登録方法

参加登録は事前にホームページで行ってください。概要集のデ

ジタル化に伴い、参加費に講演概要の閲覧・取得も含まれるようになります。従前のように、参加費と講演概要購入費が別々になっておりませんので、ご注意ください。平成 27 年度春季全国大会からの新しい参加費は、正員・賛助員 10,000 円、学生員 5,000 円、非会員（一般）20,000 円、非会員（学生）10,000 円を予定しています。従前の参加費と講演概要購入費の合計金額よりも割安になってお得になりました（非会員を除く）。

参加費の支払い方法につきましては、従前どおりです。全国大会開催中の受付で現金のみの支払いとなります。また、参加登録後の取消しは認めません。参加登録後、諸事情にて大会会場に來場できない場合には、代理の方に参加費の支払いをしていただくか、後日、学会へ直接お支払いいただくことになります。なお、講演者は、講演登録と同時に自動的に参加登録を行った扱いとなりますので、別途、参加登録は不要です。講演概要が公開された際にデジタル講演概要のダウンロードサイトのホームページアドレスとパスワードを E-mail でお知らせします。

以下にデジタル化に伴う講演申込、概要受付、参加登録、講演概要ダウンロード、J-Stage 公開までの時間的な流れを図示しました。



<<< ご注意ください!! >>>>

●紙書籍の全国大会講演概要は発行しません

デジタル化に伴い、紙書籍の講演概要は発行いたしません。また、全国大会会場での印刷サービスはございませんので、紙面への印刷は予めご自身でご用意ください。

●会場でのインターネット接続サービスはありません

会場でインターネット接続をご希望の方は、モバイル通信が可能な携帯端末などをご自身でご用意ください。会場にお越しになる前にデジタル講演概要をダウンロードし、携行するパソコン、タブレット端末、スマホなどに保存されることを推奨します。

*J-Stage：独立行政法人科学技術振興機構（JST）が運営する総合学術電子ジャーナルサイト

Mate2015 第21回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム **- エレクトロニクス製造業における生産技術の課題と次への挑戦 - 参加者募集**

日時：平成27年2月3日（火）8：50～17：30
平成27年2月4日（水）9：00～16：50

会場：パシフィコ横浜 会議センター
横浜市西区みなとみらい1丁目1-1

主催：（一社）スマートプロセス学会 エレクトロニクス生産科学部会
（一社）溶接学会 マイクロ接合研究委員会

共催：（一社）エレクトロニクス実装学会
（公社）化学工学会 エレクトロニクス部会
（一社）レーザ加工学会

協賛：応用物理学会、軽金属学会、精密工学会、電子情報通信学会、日本機械学会、日本金属学会、日本材料学会、日本溶接協会（一部依頼中を含む）

開催趣旨

日本のエレクトロニクス産業は、この20年間、高機能化、高信頼化、小型化、低コスト化の技術開発に支えられた新たな電子デバイス・部品を組み込んだ電子システム創成の下、日本の高度成長を牽引してきました。今後も日本が世界を先導し続けるには、生産技術を科学的に探求することはもちろんのこと、既存の学問領域、設計・生産技術などの領域を越えて、エレクトロニクスを取巻く科学技術、経営・生産システム、価値システム、などの広い範囲を取り込んだグローバルなオプティマイゼーションとそれに基づくシステムインテグレーションが不可欠になってきています。本シンポジウムは、これら生産技術に関する最新の研究・開発に関する研究者相互の情報交換の場をより広くかつ定期的に持ち、生産の科学と技術の進展を促すことを目的として企画開催されます。

【シンポジウム参加登録費（論文集代を含む）】

- 主催団体個人会員 : 15,000 円
- 大学・国公立研究機関 : 15,000 円
- 口頭発表者 : 15,000 円
- 主催団体維持・賛助会員 : 20,000 円
- 共催団体会員 : 20,000 円

- 一般 : 30,000 円
- 学生 : 5,000 円

【シンポジウム参加申込方法】

下記シンポジウム URL より、**平成27年1月15日（木）までに**参加登録を行って下さい。

<http://sps-mste.jp/mate2015/src/index.html>（11月中受付開始）

○参加費のお支払いは銀行振込にてお願い致します。なお、振込期日までにお振込みが間に合わない場合は、当日現金にてお支払い願います。

振込先銀行：三井住友銀行 千里中央支店

口座番号：普通0978673

口座名：Mate 組織委員会[メイトソシキインカイ]

振込期日：平成27年2月27日（金）

○シンポジウム1日目に懇親会を開催します。シンポジウム参加申込時にお申し込みください。

懇親会参加費：5,000 円

【問合せ、申込先】Mate 2015 事務局

<ものづくりリエゾンオフィス（MLO）>

T E L : 06-6878-5628 F A X : 06-6879-7568

E-mail : mate@sps-mste.jp

シンポジウム URL : <http://sps-mste.jp/mate2015/src/index.html>

プログラム（セッション名と発表件数）

- プレナリーセッション（2月3日（火）13：50～15：20）
「エレクトロニクス製造業における生産技術の課題と次への挑戦」
- 1. エレクトロニクス製造業の成り立ち、課題、そしてその再興に向けて 貫井 孝（大阪大学）
- 2. プリンテッドエレクトロニクス技術の展望と課題 鎌田俊英（独）産業技術総合研究所）

2月3日（火）8：50～17：30	2月4日（水）9：00～16：50
[A-1] 接合部の寿命予測技術（6件） [A-2] 配線・実装材料の信頼性解析（5件） [B-1] はんだ材料（6件） [B-2] 3D実装（4件）（講演1件＋論文3件） [C-1] 熱マネジメント1（6件） [C-2] 熱マネジメント2（5件） プレナリーセッション 13：50～ ポスターセッション 15：30～ 懇親会 17：45～	[A-3] ナノマテリアル（4件） [A-4] パワーデバイス1（5件） [A-5] パワーデバイス2（5件） [A-6] パワーデバイス3（4件） [B-3] プリンテッドエレクトロデバイス（4件） [B-4] プリンテッドエレクトロニクス（4件） [B-5] 樹脂実装材料（5件） [B-6] 樹脂実装プロセス（4件） [C-3] 部品内蔵基板・パッケージ（3件） （講演1件＋論文2件） [C-4] MEMS（5件） [C-5] 固相接合（4件） [C-6] マイクロ接合・加工（4件） （一般論文発表合計81件）